

飛鳥・橿原ユネスコ協会総会 記念講演会 15:00~16:20

演 題 「画期的な藤原宮」

講 師 奈良大学文学部教授 寺崎 保広 氏 プロフィール



博士（文学）
日本古代史
1955年
山形県生まれ

▶ これまで

東北で生まれ育ち、初めて職を得たのが奈良国立文化財研究所。そこに17年間つとめ、平城京・飛鳥・藤原京の発掘と、木簡の調査を担当した。

2000年4月から、奈良大へ転職し、体を使う仕事から口先で仕事をすることに。

▶ 近況

気がついたら教員になって10年も経っている。良い意味でも悪い意味でも「少し慣れてきたかな」と思うこのごろである。

2001年頃から、学生諸君に配布する資料をA4版に統一し、それを受講生以外の人にも活用してもらうために、研究室のドアに貼った箱に入れて「どなたでもご自由にお持ち下さい」としている（「どこでもドア」ならぬ「誰でもドア」である）。資料は今やシリーズ化し、「古代史の名文」、「エッセイ選」、「研究の手引き」、「文物情報」、「古代史と史料」の五種、合計200枚近くになっている。是非、研究室を訪れ、活用してもらいたい。

▶ これから

せっかく歴史の舞台である奈良にいるのだから、時間をみて、学生諸君と一緒に遺跡めぐりを計画したいと思っている。

▶ 研究テーマを少しくわしく

邪馬台国から平安時代まで、何でも対応したいと思っている。でも本当は飛鳥・奈良時代が専門。木簡などの古代史料論、都城の歴史、古代都市論、律令官人制、税制なども勉強してきた。

著書は『長屋王』（人物叢書 吉川弘文館）、『日本の木簡』（日本書学大系、同朋舎）、『古代日本の都城と木簡』（吉川弘文館）、『藤原京の形成』（日本史リブレット 山川出版社）など。